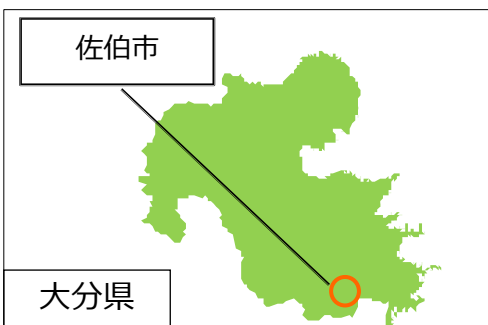


取組のポイント

- ◆ 地域特産のクリ(県内3位の栽培面積を有す)を活用し、栗ペーストの加工技術の習得と栗ペーストを使用した既存商品のブラッシュアップや新商品開発
- ◆ 駆除されたシカの有効活用として、廃棄処分されていた獣皮を活用した新商品開発及び販路開拓

地区の概要

- ◆ 位置
大分県佐伯市



- ◆ 活用した地域資源
クリ、獣皮(未利用資源)
- ◆ 事業実施主体
宇目地域活性化協議会
- ◆ 主な取組団体等
宇目ひよこの会(宇目農林産物加工グループ)、佐伯市猟友会、道の駅宇目、さいき農林公社 等
- ◆ 事業実施期間
H30~R2

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 和栗ジャム(既存)の販路拡大を図るためニーズ調査を実施。商品改良と新商品開発により、シリーズ展開化
- ◆ 廃棄処分されていた獣皮について、軽量・柔軟・通気等の特性を活かした新商品開発



【栗製品製造研修】



【宇目和栗ジャム(3種)】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 東京ビッグサイトでの見本市に、和栗ジャムシリーズ・獣皮(鹿革)製品を出展
- ◆ 見本市出展を契機に「ななつ星in九州」乗客プレゼントにジャム採用。ジャム・鹿革はJR九州の観光列車乗客向け販売でも好評



【商談会の参加
(東京ビッグサイト)】



【観光列車の乗客に販売】

取組の成果

- ◆ クリ・獣皮を活用した新商品の開発 9品(クリ:和栗ジャムなど5品、獣皮:マフラットなど4品)
- ◆ 販売額 クリ:154千円 → 962千円 獣皮:0千円 → 117千円(R2実績)
- ◆ 特産品加工事業における新規雇用者数 0人 → 3人